

# 第二次新潟市下水道中期ビジョン骨子（案）

## 背景

### 《下水道事業を取り巻く状況》

#### ◎ 人口減少と少子・超高齢社会の進行，厳しい財政状況

- ・ 利用者の減少に伴う使用料収入の減 【新潟市人口】  
2015年81万人 → 2045年69万人
- ・ 生産年齢人口減少に伴う税収入の減

#### ◎ 自然環境の変化，大規模災害の発生リスクの増大

- ・ ゲリラ豪雨，地震，津波のリスク 【地震発生回数（震度5弱以上）】  
2000年代129回 → 2010年代171回

#### ◎ 老朽化施設の増加

- ・ 集中する更新時期，維持管理費の増大 【経過年度別施設数】  
50年以上経過 9施設(ポ9)  
40～49年経過 9施設(ポ8・処1)  
※ポ・・・ポンプ場 処・・・処理場

#### ◎ 自然環境への意識の高まり

- ・ 水質保全，生活環境の改善 【鳥屋野濁水質（弁天橋）】環境基準5mg/L  
1980年14mg/L → 2016年4.6mg/L
- ・ 温室効果ガスの削減，再生可能エネルギーの有効利用

## 基本方針

### 安心・安全

浸水・地震・津波  
・老朽化対策  
etc

### 環境・健康

公共用水域の保全  
快適な生活基盤  
etc

### 持続可能な事業運営

経営基盤の強化  
下水道事業の見える化  
etc

## 方針の展開

### 健全で持続可能な事業運営

的確な経営分析

将来見通しの見える化

効果的な広報・市民と協働による啓発活動

### 安心・安全な暮らしを守る下水道

総合的な対策による浸水被害の最小化

効率的な維持管理の実施

防災・減災対策による被害の最小化

### 環境を守り育て，健康で快適な暮らしを支える下水道

汚水処理施設の整備・あり方の検討

重点地域の接続勧奨

合流式下水道改善対策施設の整備

下水道における資源・エネルギーの有効活用